

## 関東ジュニア選手権大会の見直しについて

### 1. 12才以下の出場枠について

- ・ シングルス64名(現行32名)、ダブルス32組(現行16組)で行う事になりました。

### 2. 都県出場枠数について

これまで長い期間、関東ジュニアの都県配分を定数+ドント方式(3年間の成績を数値化しそれに基づいて配分)で行ってきましたが、各都県においてその年の実情に合わないケースが多く見受けられるようになってきました。

(例; 14才で大勢で実績を残した都県の選手が、翌年16才に出場する時などで出場枠が少なく溢れてしまうとともに、逆に14才の枠に余裕が出来すぎる場合など)

また、12才以下の出場枠についても、多くの要望があること、さらに関東ジュニアランキングも実情に合う安定したシステムになってきたことを踏まえ、来年2010年大会から、以下の通り実施することに決定いたしました。

#### ●シングルス

- ・ 都県定数は現行4名から3名に変更します(合計24名) 各都県への普及活動の意味合いを持たせています。
- ・ 都県配分は現行ドント方式から、毎年1月末(2月初旬発表)の関東地域各年齢別ランキング、1位から40位までの選手の所属する都県に配分します。(合計40名)

#### ●ダブルス

- ・ 現行のとおり都県定数2組とします。(合計16組)
- ・ 都県配分は1月末(2月初旬発表)関東地域各年齢別ランキング、1位から順次ランキングを繰り下げ、その過程で都県別にペアのランキング合計により上位16組を配分します。

※配分についてこれ以外の事項が生じた場合は、ジュニア大会運営委員会にて検討します。

※元データ(ランキング)に訂正が生じた場合は再度委員会で検討します。

#### ●都県出場枠数の発表について

都県ジュニア開催要項には掲載することは出来ませんので、各都県ジュニアテニス選手権組合せ表にて発表します。